

かぼちゃが乗った病院?! アートを取り入れて居心地よき提供

秋田市にある「外旭川サテライトクリニック（SOSAC）」（理事長・穂積恒理）では「SOSACアートプロジェクト」として絵画やオブジェ等のアート作品を展示し、訪れる人の気持ちをよわらげる工夫をしている。理事長の穂積恒さんがアートコレクターであったことから、開院当初から作品の展示を行っている。



シンボルの草間彌生さんの「かぼちゃ」

クリニック内の展示作品は「秋田の自然」をテーマに、診療科ごとにコンセプトが分かれている。例えば、皮膚科では地表の風景を地球の皮膚と考え、秋田の航空写真が飾られている。歯科では、木が一本一本生える様

子歯に描かれた作品で、子歯に立ってた作品で揃えられている。内科では、医師が体の中を診察するイメージから、森の中を人が探索している様子が描かれている。また、小児科ではあえて子供に人気のキャラクターのイラストなどは飾らず、ドイツ出身のピーター・ポマー氏の作品を展示。動物や自然をモ



「歯科」窓に木がデザインされている



「内科」森(体)の中を人が探索している

チーフに描かれ、まるで子供が描いたような絵のタッチをしており、絵を見た子供の想像が膨らむような作品だ。子供がもつ病院や治療への恐怖心を緩和するための工夫がなされている。この他、ラウンジにはシールを使った風景面や、自然をモチーフにした草間さんの作品が展示されている。同クリニック事務部長の伊東威「皆さんは「病院に楽しいイメージを持っている人は多くありません。アートを通じて親しみを感じてもらい、作品を観に気軽に立ち寄ってもらいたい」と語った。